

6月
June



クレマチス

花言葉 精神の美／旅人の喜び

凜々と咲く紫紺の花
しなやかな蔓で魅せる初夏の景色

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- しっかり水が上がっている、鮮度のよい花を選びましょう。
- カットした切り口の下から1cmほどをハサミの柄などで軽くたたき、細く硬い茎をほぐします。ひと手間かけて、水を吸いやすくしてあげましょう。
- 切り花栄養剤でさらに水の吸上げがよくなり、花持ちもぐんとアップ！小さなつぼみまで咲き、長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①万が一クレマチスの水が下がってしまったら、花を壊さないように新聞紙にくるみ、足元をぎゅっとセロハンテープで留めて、上記のように茎の切り口を処理します。たっぷりの水に2~3時間浸ければシャキッと元気に！
- ②ダリアを短めにカットし、器の口元に生けます。この時、ダリアの花が下にうつむかないように気をつけて。
- ③ダリアの茎を花留めにしながら、クレマチスをあしらっていきます。茎や葉の動きを観察しながら、美しいラインを生かして舞い咲くようにいけましょう。

涼感あふれる蔓性植物の女王

初夏のガーデンではバラのパートナープランツとして大人気のクレマチス、切り花の流通は6月が最旬です。様々な花形の品種が出回り、軽やかなシルエットがナチュラルなデザインにぴったり。花が咲き終わった後のシードにも表情があり楽しめます。中国や日本が原産の品種も多く、「鉄線」や「風車」といった和名も。

